



1月23日に「関節リウマチ」をテーマに市民公開講座を開催しました！ご参加頂いた多数の市民の皆様は、講師である当院整形外科、石澤副院長の熱弁に聞き入っていました。今回の石澤先生のお話が、市民の皆様にとって“関節リウマチ”に対する正しい知識を知るきっかけとなる事を心より願っております。

医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

基本方針

1. 良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

2. 患者さまに対する職員の対応に関する事項

笑顔をもットーとし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

3. 患者さまの権利の尊重に関する事項

患者さまの権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

4. 職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。

ガーデニング(ツツジについて)

ツツジは私たちにとって非常になじみ深い植物です。おそらく年間数十万本か、それ以上の苗木が供給されていますから、多くの家の庭や公園などにツツジが植わっています。

ツツジとは何かと言えば、ツツジ・シャクナゲ属(Rhododendron)の中からシャクナゲを除いたものであって、植物の分類に基づいた名称ではありません。つまり、ツツジ・シャクナゲ属は植物学的にツツジとシャクナゲとに分かれるわけではありません。また、ドウダンツツジなどはまた別の属ですから本来のツツジとは異なったものです。

ツツジと呼ばれるものには大きな三つの仲間があります。

ひとつは、常緑ツツジの仲間です。常緑ツツジは世界で約90種か、多分それ以上の種類が東アジアの特に南部を中心に自生しており、そのうちおよそ17種から23種が日本に見られます。また、交配などによって多くの園芸品種が作られています。よく、ツツジとどこが違うのかと問われることのあるサツキもこの常緑ツツジの仲間の一種です。大型の平戸ツツジと言われるものや小型の久留米ツツジ、さらに小型のミヤマキリシマなどがあります。ツツジやサツキについては、およそ三百年前の園芸書にそれぞれ百種類以上の品種の記載があり、古くから品種改良がおこなわれていたと考えられます。ただ最初は、自生しているものの中の変異個体や枝変わりによる変異を集めたものと思われる。ツツジの実生技術が確立したのは二百年ほど前のこととされています。

次に落葉ツツジの仲間がありますが、この中には二つのものがあって、一つはレンゲツツジの仲間です。エクスパリーアザレアとか匂いツツジとか言われているもので、北アメリカに多くの原種が自生していまかこの仲間の品種改良は百年位前からヨーロッパではじまったようですが、第二次世界大戦後にイギリスで改良された、豪華な花をつけるエクスパリーアザレアは日本でも広く出回っています。もう一つはミツバツツジの仲間です。この仲間には園芸品種はあまり早られません。日本で進化した仲間です。日本各地に何種類もの原種が自生していますが、いずれもよく似た花を咲かせます。同じ落葉ツツジでもレンゲツツジの仲間と、ミツバツツジの仲間とは分類上近縁ではありません。

最後に有鱗片類の仲間があります。欧米ではこの仲間はRhododendron(シャクナゲ)と呼ばれていますが、外見的にはシャクナゲと言うよりはツツジのように日本人の目には見えるので日本では一般にツツジと呼ばれています。最近では交配種も出回ってきて、園芸店や植木市などで青紫の小型のツツジを見かけたら、それはこの仲間のツツジです。そのほかに藤桃色のゲンカイツツジや薄黄色のヒカゲツツジがあります。海外ではヒマラヤ山麓に非常に多くの種類を産し、またヨーロッパのアルペンローゼはこの仲間の一種(Rhododendron ferrugineum)のことを言います。さらに熱帯アジアからオセアニアにかけて、極めて多数の種類が見られるビレア(熱帯シャクナゲ、マレーシアシャクナゲ)も有鱗片類です。

このように、一口にツツジと言ってもなかなか複雑ではあります。

東 絃一郎



診察のご案内

- 外来診療：平日／9：00～17：00
土曜／9：00～12：00
- 休診日：日曜日・祝祭日・盆休（8月13日）
年末年始（12月31日～1月3日）
- 診療科案内：内科・外科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・
泌尿器科・胃腸科・肛門科・循環器科・呼吸器科・
アレルギー科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・
放射線科
- 人間ドック：随時受け付けています。



Fujiwara Memorial Hospital

藤原記念病院

〒010-0201 潟上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131 FAX 018-878-7234

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~keitoku/>

編集後記

昨年は新型インフルエンザの大流行など慌ただしい年でした。皆様にもご迷惑をおかけしたことと思います。今年は予防接種など免疫力をつけて立ち向かいたいですね！
数年ぶりの寒さにめげてしまいそうですが、寒さ対策をばっちりして、体調管理に気をつけましょう。本年も「なつめ」をよろしく願います。

特選！受付のお花

いつも患者様にご好評頂いている受付の花を特選し、紹介します。

母の日でお馴染みのカーネーション、この花には一体どんな物語があるのでしょ。少しだけ調べてみました。

一説によるとこの花は、処刑されるキリストを見送った聖母マリアが流した涙から生まれた花で、キリストの血が飛び散って中央が赤くなったとも言われており、母性愛の象徴とされています。

ちなみに詩人の北原白秋は、酔うとバーに飾ってあるカーネーションの花を食べてみんなを驚かせたという話があります。ヨーロッパのエディブルフラワー（食べられる花）の習慣を知っていたのかも知れませんね。

イタリア伝説

ロンセッコ伯爵のオランダは結婚式を挙げた翌日に、十字軍の騎士として従軍しなければならなかった。新妻のマルガリータは出陣する夫に、白いカーネーションの花を一本贈った。一年が過ぎた頃、彼女に悲しい知らせが届いた。オランダは先頭に立って戦い、全身に刃を受けて戦死したのだ。彼が肌身離さず持っていた萎れたカーネーションは血で赤く染まっていた。形見に付いていたわずかなタネをまくと中心部だけが赤い白い花が咲いた。以来、ロンセッコ家の家紋はカーネーションである。



学名

ダイアンサス(Dianthus.sp)

分類：ナデシコ科カーネーション

なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)